



Creative ～会員全員が主役になれる学友会～



学友会会長からの提案

5月13日（金）には、学友会計画総会が行われ、今年度の学友会が目指す姿がはっきりしてきました。

今年度の学友会は、「Creative～会員全員が主役になれる学友会～」をスローガンに掲げました。「会員全員が主役」のイメージは、「パズル」です。会員一人一人を一つのピースと見立てて、全員で完成形を創り上げます。会員の積極的な活動参加を促せるような取組をどんどん行っていく予定です。

さて、近年の学友会の進歩はめざましいものがあり、とくに計画総会の審議の質は格段に向上し、「いわゆる一問一答」から「意見を言うための質問」（答弁に対する追質問、又は意見を付加）の場面が多く見られました。執行部と会員とのつながりをより確かにした瞬間でした。「学校をよりよくしたい。」「一人一人が楽しい学校生活を送ってほしい。」という思いが確実につながってきています。学友会全体で創造的な活動を行い、会員一人一人が本気になって考え意欲が高まる一年になりそうです。

今年度は、スローガンを「Creative」と提案しました。

各学級・学年や、委員会・部活動などが「Creative」を目指して活動することで、スローガンの達成をねらいます。昨年度も年間を通して「絆活動」を行い、よりよい人間関係を目指しましたが、これと同じように、「創造」を目指すことを通して、よりよい人間関係づくりもしていきたいと考えています。

会員と会員のつながり、各専門委員会と会員のつながりを創ることで、強い結びつきが生まれ、落ちても崩れない「パズル」を目指します。一人一人が「Creativeな学友会」を創るために人と人との結びつきを大切にしていける必要があると考えています。



体育館入り口手前にある学友会

ここからも、各委員会、各部活の「つながり」が感じられます。

教育研究協議会が行われました～これからも地域の拠点校として責任ある行動を～

5月25日（水）に附属長岡校園教育研究協議会が行われました。この時期に授業を公開することで、地域の拠点校、モデル校としての責務を果たしています。生徒は、準備段階からよりよいものを創り出そうとする意識がものすごく高く、当日の授業では、「協働型学習」を柱とした授業の中で、他の生徒と考えを積極的に交流したり検討したりして、よりよい考えや価値を創り出していました。生徒の皆さんの姿は、協議会において参観者の皆さんから高く評価されました。

当日はオープンスクールとなっており、たくさんの保護者の皆さんから、生徒が真剣に学び合う姿をご覧いただけたものと思っています。なお、素心会の役員の皆様には、受付、駐車場等でお手伝いいただきました。まさに、保護者、生徒、職員で創る研究協議会であり、附属長岡校園のよさを全国へアピールできました。

< 研究協議会スナップ >



～「社会創造科」小学5年生と1年2組による発表～
単元名「私達にできる循環型社会への取組」



～「数学」2年2組による発表～
単元名「確率～どのように数学的確率を考えたら説明できるか～」



～「技術・家庭科(技術分野)」3年1組による発表～
単元名「目的を果たす動きを実現！～「TECH 未来」を使ってエネルギー変換～」



～「美術」3年2組による発表～
単元名「私だから見えるもの～「光の画像」クロード・モネを鑑賞する～」